

# RESAS（経済分析システム）を活用した地域経済動向の分析

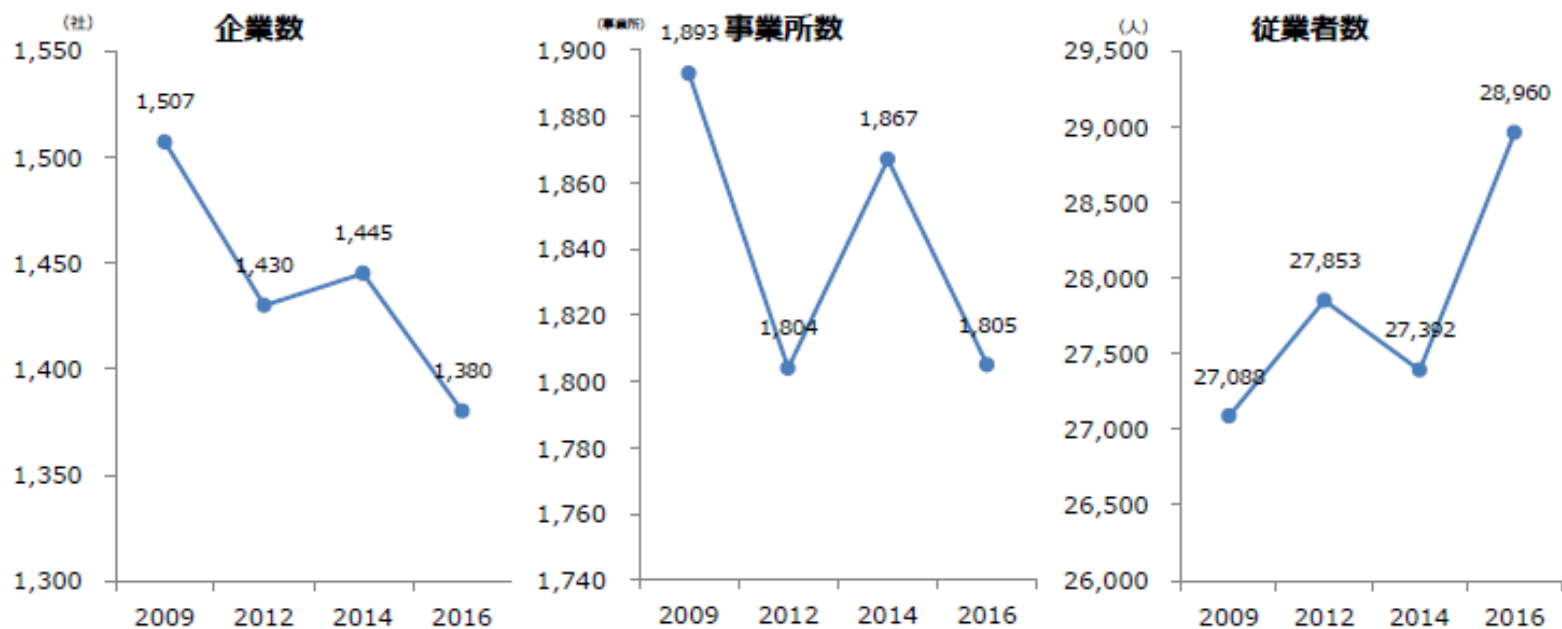
令和4年3月23日

いなべ市商工会

## ①企業数・事業所数・従業者数の推移

産業構造マップ> 全産業> 企業数・事業所数・従業者数（事業所単位） → [「グラフを表示」](#)

・地域産業全体の推移を、企業数、事業所数、従業者数の推移により概観します。



【出典】 総務省「経済センサス－基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

【注記】 企業数については、会社数と個人事業所を合算した数値。従業者数は事業所単位の数値。

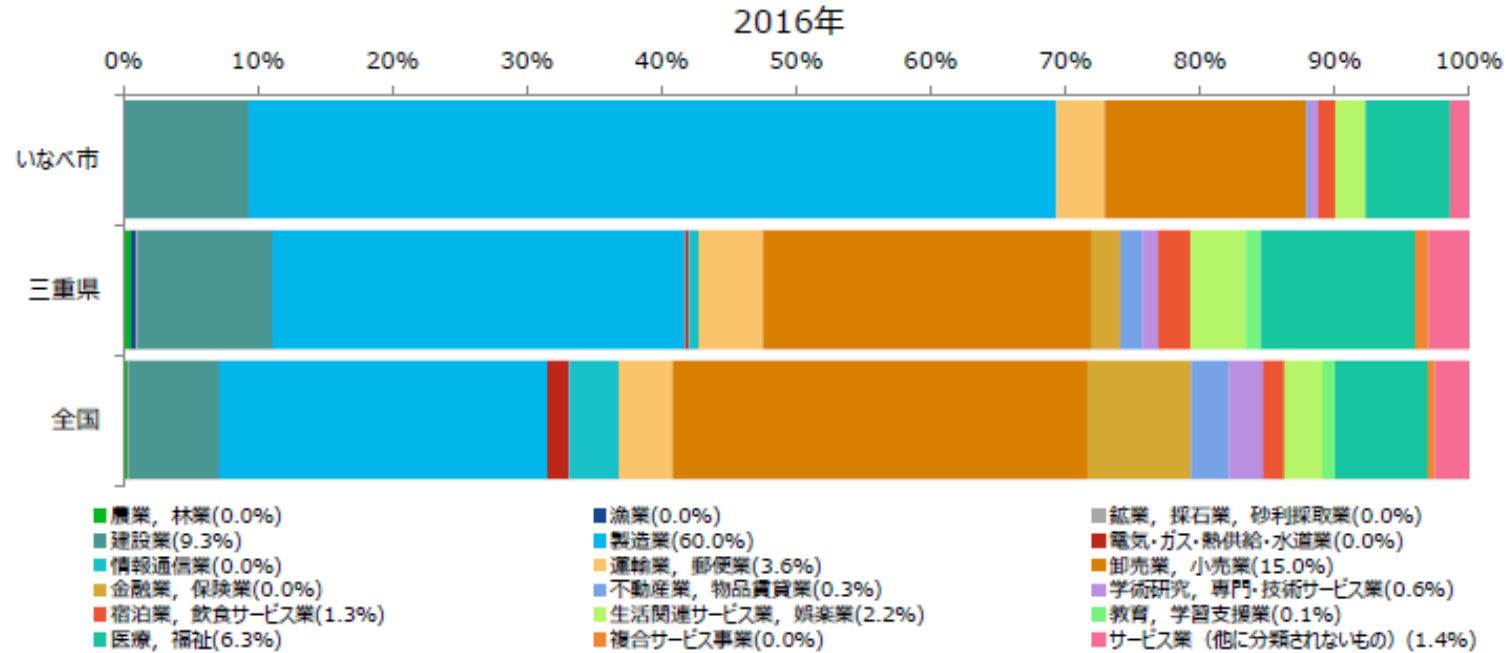
### 【分析結果】

いなべ市内の企業数及び事業所数は減少傾向にある。したがって、廃業>開業となっている。いなべ市内の従業員数は増加傾向にあり、地域での雇用が創出されている。一方で、創業の機運が高まっていないことが考えられる。

## ②産業大分類別に見た売上高（企業単位）の構成比

産業構造マップ>全産業>全産業の構造 → 「横棒グラフで割合を見る」

- ・売上高（企業単位）について、産業大分類別の構成比を他地域と比較します。
- ・自地域において構成比の大きな産業、他地域と比較して構成比の小さな産業等、産業の特徴を概観できます。



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。

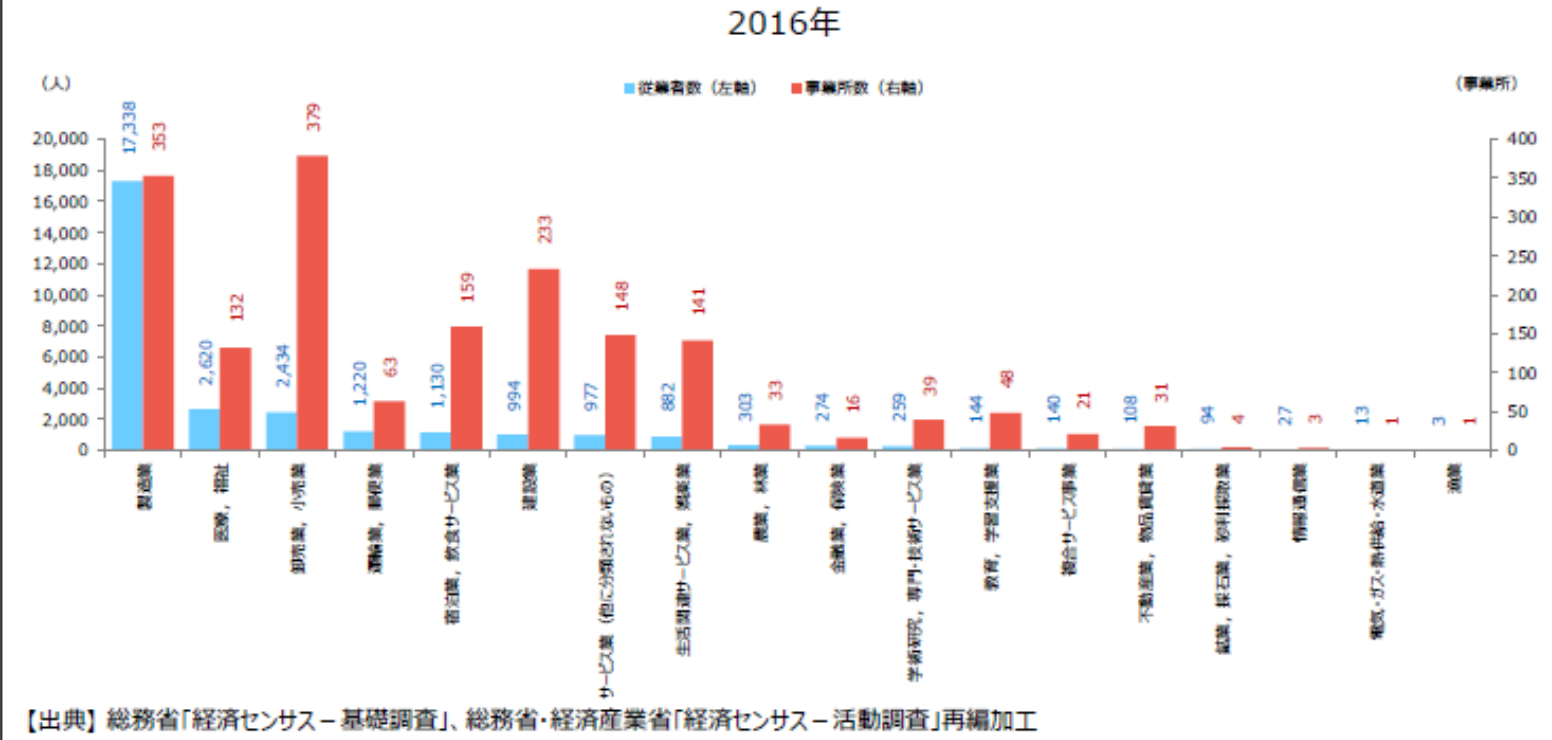
### 【分析結果】

いなべ市においては製造業が60%と半分以上を占めており、全国・三重県と比較しても突出している。この要因としては、大手自動車部品メーカーの生産拠点が所在しており、関連する製造業も多いことが考えられる。次いで、卸売業・小売業が15%、建設業が9.3%と続き、サービス業は構成比が低い水準となっている。

### ③産業大分類別に見た従業者数（事業所単位）と事業所数

産業構造マップ>全産業>（事業所数・従業者数（事業所単位）） → （ダウンロードデータより作成）

・自地域の主要産業を産業大分類別の従業者数（事業所単位）および事業所数の観点から概観します。



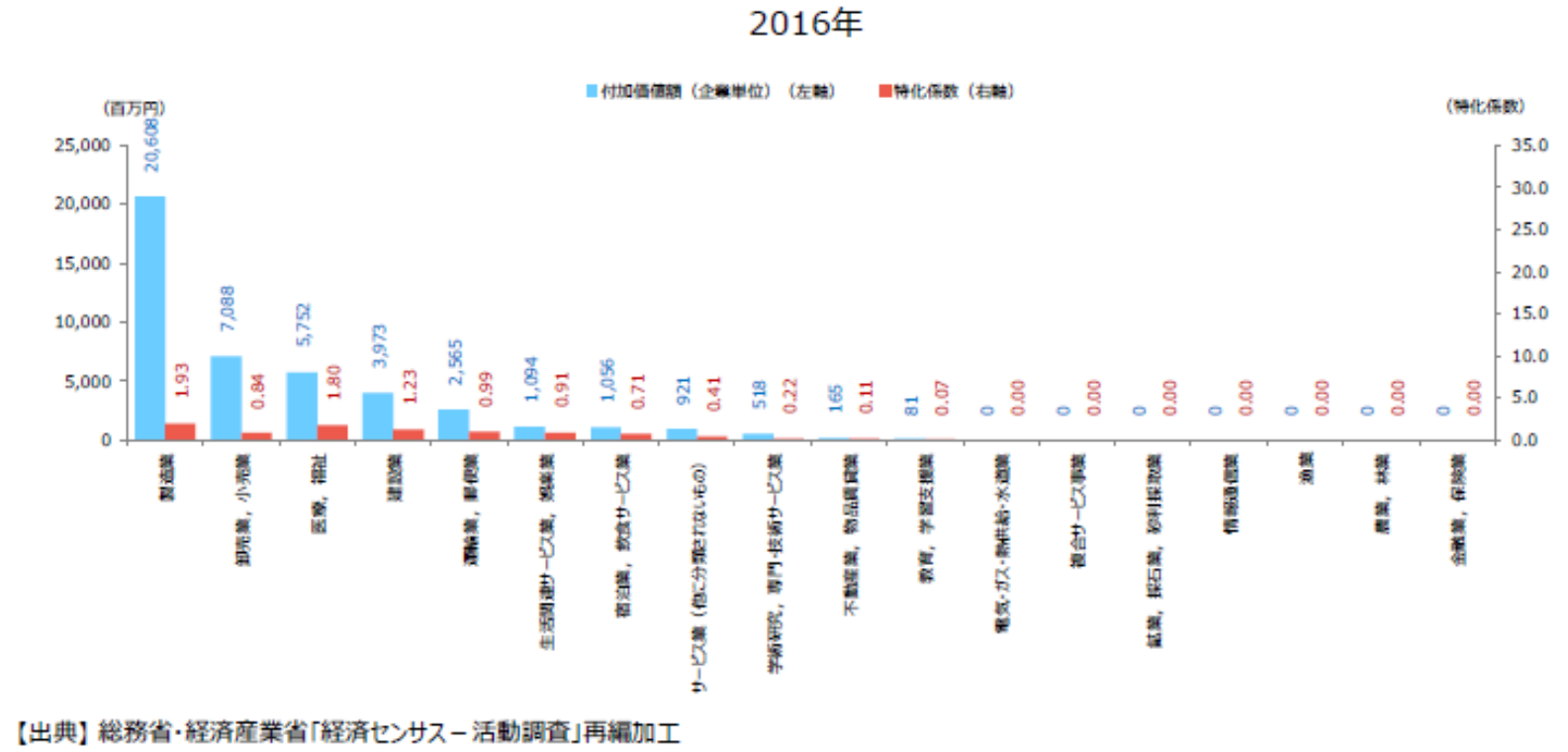
#### 【分析結果】

製造業における従業員数が1番多く、地域の雇用の大部分を占めている。この要因としては、大手自動車部品製造メーカーの生産拠点があるためだと考えられる。時点で、医療福祉における雇用が多い。卸売業・小売業、サービス業においては、事業所数は多いが、従業員数は少なく、雇用創出には繋がっていない状況となっている。

#### ④産業大分類別に見た付加価値額（企業単位）

産業構造マップ>全産業>全産業の構造 → (ダウンロードデータより作成)

- ・付加価値額の面から、自地域において稼ぐ力の大きな産業を概観します。
- ・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。



#### 【分析結果】

いなべ市において稼ぐ力の最も大きな産業は、製造業となっており、他の産業と比べ突出している。また、医療、福祉と建設業においても特化係数が1よりも大きい産業であり、稼ぐ力を持っている。一方で、サービス業、卸売・小売業は付加価値額の向上が課題であると考えられる。

## 三重県の都道府県を跨いだ移動 - 都道府県を跨いだ移動の最新上位10都道府県

2019年12月30日 ~ 2022年3月13日

エリア

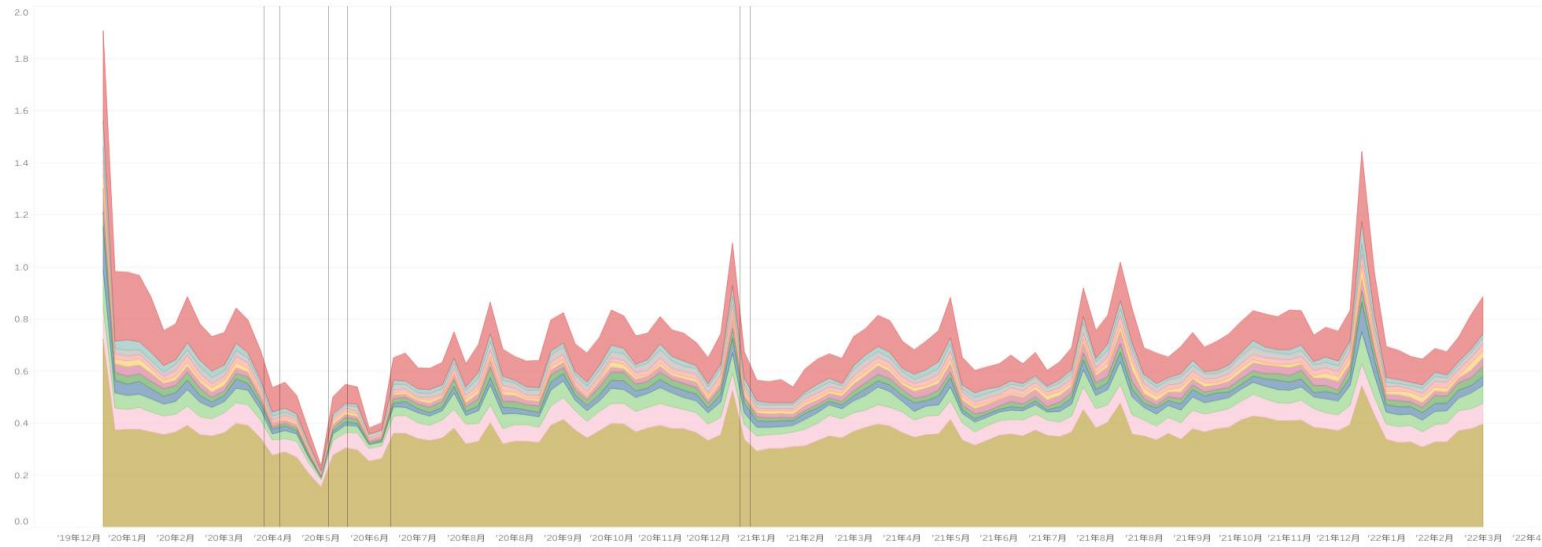
北勢

方向

他都道府県から当該都道府県・エリアへの移動

最新上位10都道府県

■ 愛知県 ■ 岐阜県 ■ 大阪府 ■ 東京都 ■ 兵庫県 ■ 静岡県 ■ 埼玉県 ■ 京都府 ■ 滋賀県 ■ 神奈川県 ■ その他



V-RESAS

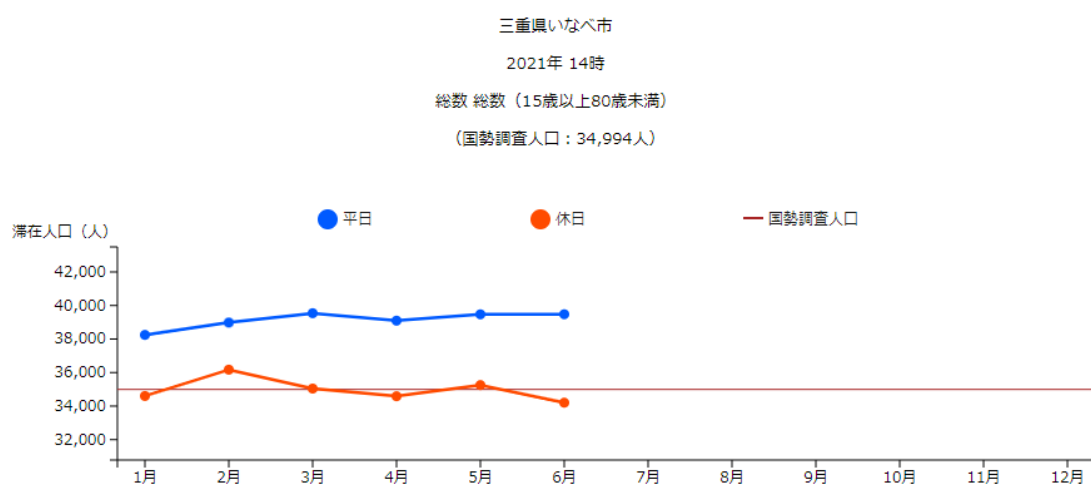
<https://v-resas.go.jp>

出典：株式会社Agoop「流動人口データ」  
(GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値)を元に集計

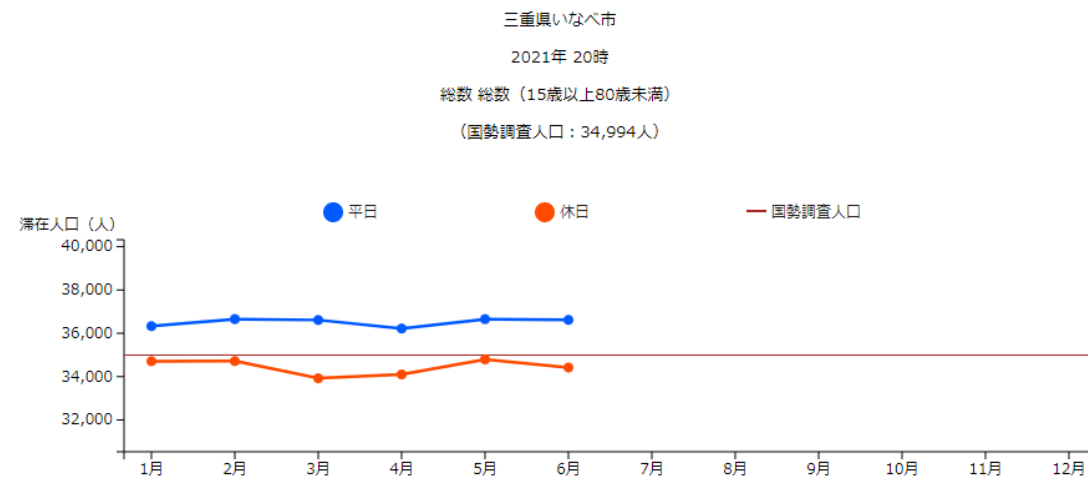
### 【分析結果】

三重県北勢エリアにおける他都道府県からの移動は、愛知県、岐阜県からの移動だけで50%を超えている状況である。夏季休暇や年末年始における帰省により、一時的な移動の増加が見受けられる。また、新型コロナウイルス感染症により、隣県で緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発令された場合、地域の経済への影響を受けやすいことが考えられる。

# いなべ市の滞在人口の月別推移



【出典】  
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」



【出典】  
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」  
総務省「国勢調査」

## 【分析結果】

いなべ市における滞在人口は、休日に比べ、平日の方が多い。また、夜間に比べ、日中の滞在人口が多い傾向がある。したがって、勤務先がいなべ市内にあり、住居が市外にあるという人が流入することによる滞在が多いことが考えられる。